

マルチアクア据付説明書



この度は、弊社の製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この据付取扱説明は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な説明書です。工事開始前に必ずお読みください。

- 1.本書の記載事項に従って工事がされなかったことが原因で生じた故障、事故などは保証期間内での無償修理の対象になりません。
- 2.保証書は、販売店、設置日などが記入されていることを確認し、大切に保管してください。紛失してしまうと、保証期間内であっても無効となることがあります。
- 3.指定給水装置工事事業者が施工を行ってください。

目次

1. 安全に設置工事するために注意していただくこと	1
2. システム全体図	2
3. 運搬・保管	2
4. 仕様	3
5. 付属部品	3
6. マルチコアの据付	4
(1) 貯水部	4
(2) 付属品接続手順	6
(3) 加圧ユニット	8
7. 試運転	10

1. 安全に設置工事するために注意していただくこと

●ここでは、警告 注意の2つについて述べています。

警告とは…

設置作業や使用者が、誤った使い方をすると、死亡または重症を負う可能性が想定される警告内容です。

注意とは…

設置作業または使用者が、誤った使い方をすると軽症または製品、家屋等の物損事故を引き起こす可能性が想定される注意内容です。



警告 WARNING

炭酸ガススクリュー

- 炭酸ガススクリューは、過熱したり、火中に投げないでください。
- 高濃度の炭酸ガスを吸入すると、人体に影響がある可能性があります。
- 一度ご使用された炭酸ガススクリューは、穴が空いていることを確認してから廃棄処分をしてください。

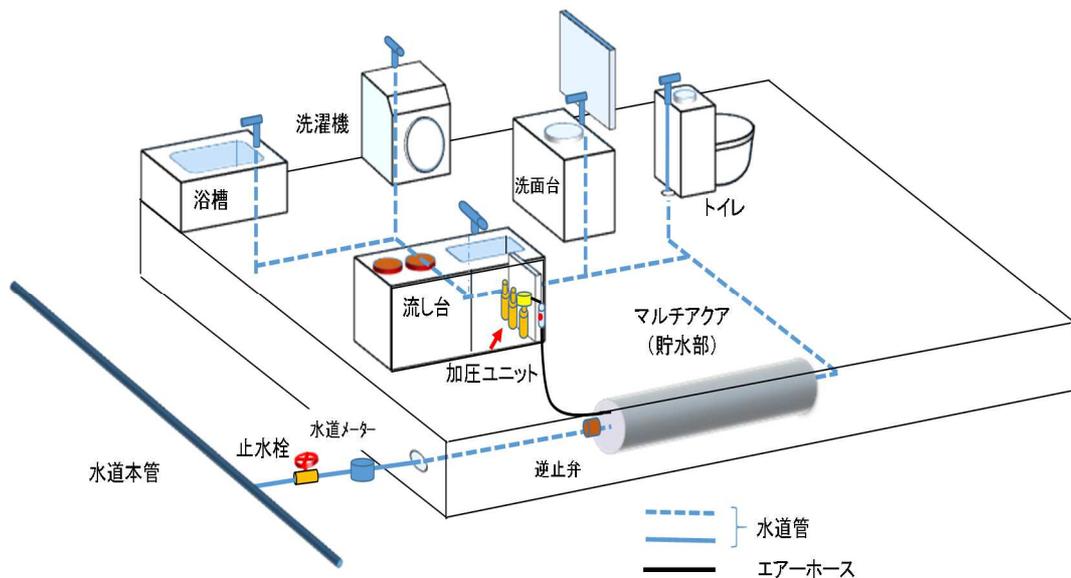


注意 CAUTION

炭酸ガススクリュー

- 炭酸ガスは大気中に放出するとドライアイスが精製され、これに触れると凍傷を起こす危険があります。取り扱い時には保護具（手袋など）を着用してください。

2. システムの全体図



システム全体図

3. 運搬・保管

- 本製品は、衝撃を与えると内部の部材が損傷する可能性がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 本製品は、重量物（約70kg）ですので、トラックへの積み降ろしは、腰などを痛めないように、複数人または、適切な機材を使用してください。
- 本製品の表面はスチルの管で構成されているため、たいへん滑りやすくなっています。滑り止め付きの手袋を着用して取り扱うようにしてください。
- 本製品上には絶対に乗らないでください。
- 保管は、水に濡れない屋内で保管してください。

4. 仕様

●貯水部

直径:320mm 全長:2000mm 重量:60.5kg (乾燥重量) 約 185kg (満水時)

貯水部材質: SUS304、塩化ビニル、リソンの三層構造 貯水量:約 120ℓ

耐水圧:1.75Mpa (公益社団法人日本水道協会 指定耐水圧)

配管接続口径: 25A Rネジ

IP-ホース接続口径: 外形 6mm



●加圧ユニット

(1)コントロール弁

幅:255mm 高さ:136mm

圧力調整器 1 個および炭酸ガストリップ 98mmφ3 本収納

(2)圧力調整器 (含む IP-ホース、IP-継手)

製造元 株式会社 CKD

設定圧力値 0.1~0.14Mpa 流量 12ℓ以上/分 使用温度 5~40℃

保証耐圧力:10.5Mpa

(3)逆流検知



①コントロール弁・圧力調整器・逆流検知



②炭酸ガストリップ

5. 付属部品

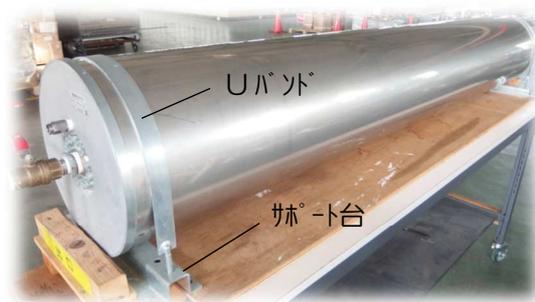
貯水部以外に、以下の付属部品が含まれます。

●サポーター台 (2 個) 【出荷時貯水部に設置されています。(4ページ写真④を参照)】

●Uバンド (2 個)+M10 ナット (8 個)

【出荷時貯水部に設置されています。(4ページ写真④参照)】

- 加圧ユニット（1 ヶット）【(3ページ 写真①参照)】
- 炭酸ガスカートリッジ（3 本）【商品名:ミニガスカートリッジ 98mmφ 日本炭酸瓦斯株式会社(市販品です。お客さまご自身がホームセンター又はネット通販等で購入ができます。3ページ 写真②参照)】
- 炭酸ガスカートリッジ の取扱注意シール（1 枚）
- 安全弁（1 個）（株式会社日本ビシ製 作動圧力値 0.185~0.199Mpa）
(6ページ 写真①を参照)
- 3/8 インチア継ぎ手（1 個）【ニッパ株式会社製（貯水部接続用）】（6ページ 写真②を参照）
- 6φポリカーボネイトホース（5m）【ニッパ株式会社製 黒 U2-4-6-4】



④ホース台およびUバット

6. マルチアクアの据付

はじめに

本システムは、戸建住宅用の貯水システムです。

水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。井水・雨水等の使用は前提としておりません。

本製品は、住宅用で横置き 1 台が前提となります。

(1).貯水部

据付場所の選定（貯水部）

本製品は以下の注意点に従い、**住宅の床下等の屋内に横置きで設置してください。**

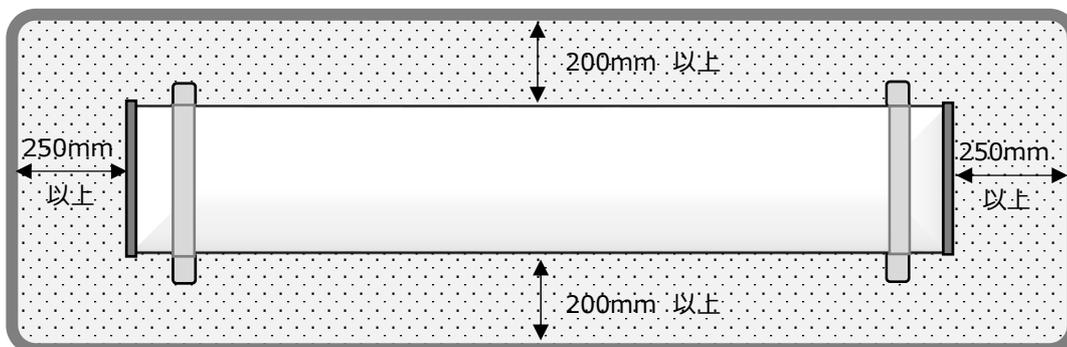
- 水道工事およびその付帯工事、保守が出来る場所。
- 貯水部は、量水器の二次側直後に設置すること。
- 貯水部は一次側に水栓を設けないこと。
- 平坦な場所で貯水部固定のためにアンカーボルトが設置できるコンクリート床面または、ボルトが設置できる鋼板床面
- 堅固なコンクリート敷き床面または鋼板床（耐荷重: >1 トン/m²）
- 水溜りが出来ない場所。

- 貯水部の保守管理が行える点検口（床下収納等）を設けること。

※点検口は、貯水部出口側付近に設置して下さい。

（点検口寸法 600mm×600mm 以上）

- 製品の据付には、下記に示した Δ - Δ を確保して下さい。



以下の場所には設置しないでください。

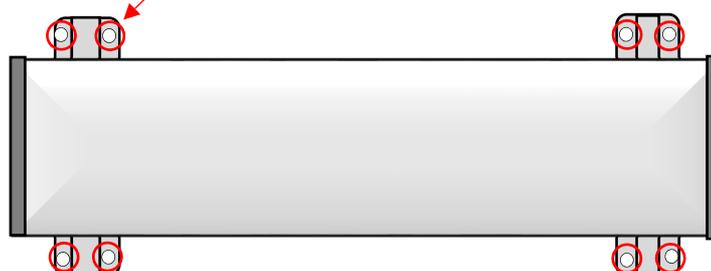
- 水道水が凍結する寒冷地。（保温材による凍結防止は、要相談）
- 雨に濡れる場所。
- 凸凹のある場所。
- 傾斜勾配のある場所。
- 塩害（海水）の影響を受けやすい場所。（金属部品の腐食が激しい場所）

据付手順（貯水部）

1. 水道管の止水栓（元栓）を閉じてください。
2. 貯水部を設置場所に設置してください。
（設置の際は、衝撃を与えないように丁寧な取り扱いをしてください。）
3. 貯水部にあらかじめ取付けてある Δ - Δ 台 1 台につき、固定用の穴が 4 箇所あります。必ず両サイド 1 本ずつアンカーボルト又はボルトを設置し、本体を固定してください。
コンクリート床には M10×70~80mm（全長）のアンカーボルトで固定してください。
鋼板床の場合は、M10 ボルトで鋼板の厚みにあった長さのボルトを使用してください。

アンカーボルト・M10 ボルト取り付け位置（貯水部を上方から見た図）

○の箇所がアンカーボルトまたは M10 ボルト取り付け穴です。



(2).付属品接続手順

①. 安全弁 (付属品)

出口側の黄色[®]リ栓(小)または、黄色シール(小)をはがして、付属品品の安全弁を 3/8 の 衽 穴に取り付けてください。取り付けの時の締め付けトルクは、12.5~14.5N・m の 範囲で締め付けてください。また、シールテープ[®]、シール材は、先端から 1.5~2 山残して巻く、または塗布してください。

(下図：付属品取付け位置図にて安全弁の場所を確認してください。)



① 安全弁

②. 3/8 1/2I7-継ぎ手 (付属品)

入口側の青色[®]リ栓(小)または、青色シール(小)をはがして、付属品品のI7-継ぎ手を 3/8 の穴に取り付けてください。取り付けの時の締め付けトルクは、15~20N・m の範囲で締め付けてください。また、シールテープ[®]、シール材は、先端から 1.5~2 山残して巻く、または、塗布してください。

(下図：付属品取付け位置図にてI7-継ぎ手の場所を確認してください。)



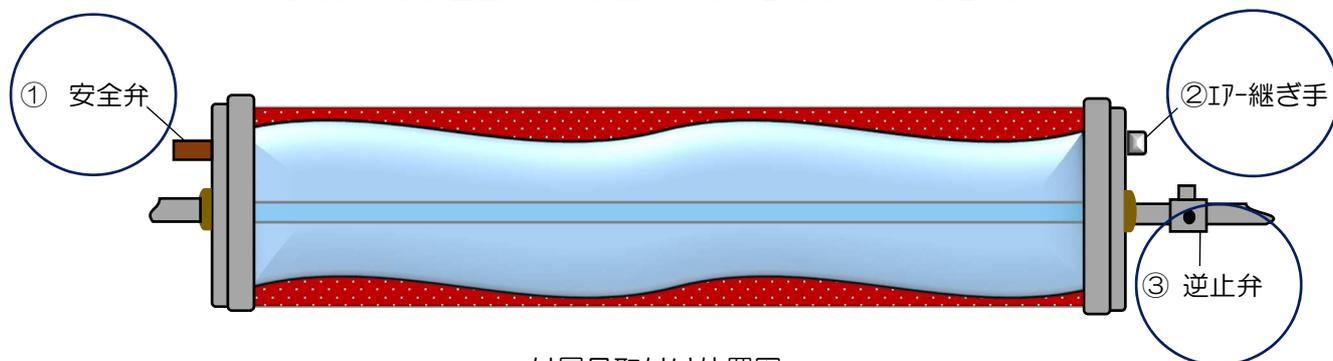
② 3/8 1/2I7-継ぎ手

③. 逆止弁 (付属品)

貯水部入口の直近に、日本水道協会認証品の逆止弁を必ず設置してください。

(逆止弁が設置されていないと、断水時に加圧ユニットによる取水が出来ません。)

(下図：付属品取付け位置図にて逆止弁の場所を確認してください。)



付属品取付け位置図

- ④. 既設水道配管が鋼管等の腐食性のある配管をお使いの場合は、錆などの異物が貯水部に入り込むと正常に機能しないことがありますので、必ず、ストレーナー付き逆止弁もしくは逆止弁とストレーナーをセットで取り付けてください。
- ⑤. 水道配管への取り付け前には、切削油、切粉、異物をきれいに取り除いてから水道配管へ接続してください。
- ⑥. 貯水部の出入口の口径は 25A になっていますが、接続する水道配管径が異なる場合は、異径のフックをご使用ください。(締め付けトルク 70N・m)
- ⑦. 水道配管に金属配管を使用する場合は、必ず、耐震対策として、伸縮可とう管（フレキブル等）を使用してください。
- ⑧. 水道配管の取り付け後は、必ず、締め忘れがないか確認してください。
* 配管、弁等の接続方法、締め込みトルクは使用する部品メーカーの基準に従って施工してください。

据付で注意してもらいたいこと（貯水部）

- 既設水道配管が鋼管等の腐食性のある配管をお使いの場合は、錆などの異物が貯水部内に入り込むと正常に機能しないことがありますので、必ず、ストレーナー付き逆止弁もしくは、逆止弁とストレーナーをセットで取り付けてください。
- 水道配管取り付け時は、口径部の損傷が無いようにしてください。
- 貯水部は、分解しないでください。
- 貯水部には、出入口の指定がありますので、正しい向きで設置してください。
(入口側: 青色ポリ栓または、青色ソール 出口側: 黄色ポリ栓または、黄色ソール)
- 本体と接続口径部には、温度、流体に適したソール材を使用してください。

- 貯水部出入口（インナーリング 真鍮）と、水道配管継ぎ手の締め込み時は、必ずサイズの合ったスパナ等の適切な工具を使用してください。パイプレンチを使用し、締め込んだり、緩めたりは絶対にしないでください。



インナーリング（真鍮）

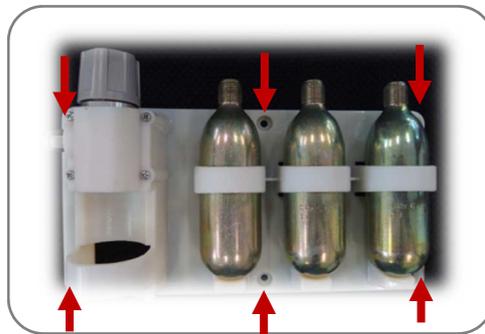
(3) 加圧ユニット据付場所の選定（加圧ユニット）

加圧ユニットは以下の注意点に則った設置場所を、お客様と協議の上選定してください。

- 操作しやすい場所を推奨します。
(例:炭酸ガスカートリッジが容易に交換できる場所、明るい場所等)
- 直射日光を避ける場所に設置すること。
- 加圧ユニット近くに熱発生源がないこと。エアホスは、熱によって変形、収縮が発生する為、熱発生源から離して、取り回しをすること。(ガス炉、IHヒーター下等は不可)
- 加圧ユニットを屋外、もしくは、粉塵等が発生する可能性のある場所に設置する場合は、コントロールボックス(W=500mm以上、H=300mm以上)に格納してください。
※コントロールボックスは、別途手配となりますのでお問い合わせ先までご連絡ください。
- エアホスは、折れ、つぶれ、擦れの可能性のある場所の取り回しは避けること。

据付手順（加圧ユニット）

1. 加圧ユニットを所定の場所に設置してください。(必ず、炭酸ガスカートリッジが、圧力調整器から容易に脱着できることを確認してください。)
2. 加圧ユニットは、M5 のタッブネジ 6 本を使用して固定してください。タッブネジを強く締め込むと、加圧ユニットのプラスチック板が割れる可能性がありますので注意してください。
(下の写真の赤→部)



3. 炭酸ガスカートリッジ取扱注意事項のラベル(下記)は、加圧ユニットの近くで、注意事項が一目で分かるよう見やすい所に貼ってください。



注意事項

- 1.炭酸ガスカートリッジは火気、直射日光を避けて、使用、保管して下さい。(40℃以下)
- 2.人体に影響することがありますので、炭酸ガスを吸引しないでください。
- 3.炭酸ガスカートリッジ取り扱い時は、必ず保護具を着用してください。
- 4.使用後は、蓋(封板)に穴が開いていることを確認し、地域のごみ出しルールに従い廃棄処理をしてください。

4. 逆流検知（付属品）にあらかじめ接続されているエアホース端を、加圧ユニット(圧力調整器側)のエア継ぎ手に差し込んでください。



逆流検知



加圧ユニット



逆流検知の接続

5. 付属品 5m のエアホースの一方の端を、加圧ユニットに接続した逆流検知のホースが接続されていない継ぎ手に差し込んでください。



逆流検知とエアホース接続

6. 付属品 5m のエアホースの他方の端を貯水部入口側のエア継ぎ手にしっかり差し込み接続してください。（差し込み後、エアホースを軽く引っ張って抜けなければ OK）

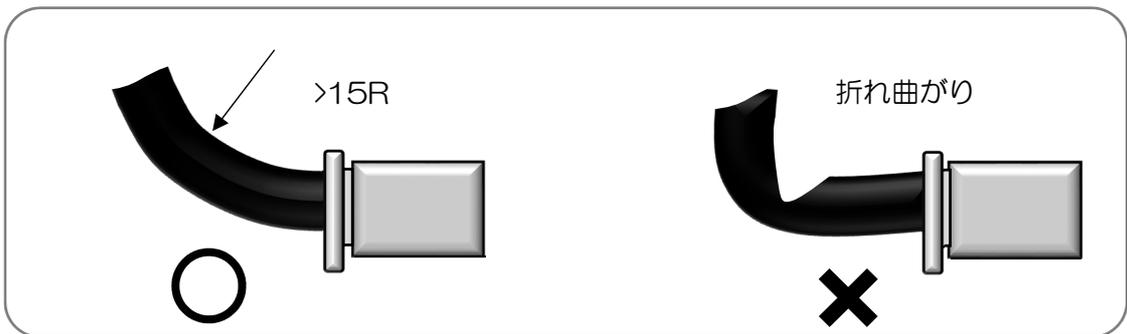
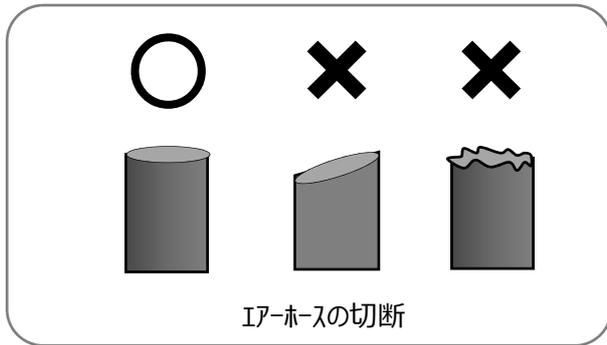


貯水部側エアホース接続

エアホースは、最小曲げ半径が 15mm です。

エアホース長さ調整で切断するときは、必ず、エアホース専用カッターを使用して、目視でまっすぐ（垂直）に切断してください。

ニッパー、ペンチなど使用しないでください。また、チューブ内に異物などが入らないように注意してください。



7. 圧力調整器には、触れないでください。



7. 試運転

エア抜き（貯水部）

貯水部に水道水を注入すると、貯水部のシリコンチューブ内にエア（空気）溜まりが発生します。エア溜まりを除去しないと、貯水部のシリコンチューブ内にエア溜まりが残ったままになってしまい、取水流量が不安定になったり、水道水の水質が劣化する可能性があります。エア抜きは下記の手順で行います。この作業は、必ず、水道局の指定給水装置工事事業者の立会いのもとで行ってください。

1. 止水栓（元栓）が閉まっている場合、止水栓（元栓）を開きます。
（下の写真赤丸を参照）



2. すべての取水口（蛇口等）が閉まっていることを確認してください。
3. 取水側の取水口（蛇口等）を開きます。（お風呂をお勧めします。）
4. 加圧ユニット（圧力調整器）のエアホースを外します。（下の写真赤丸を参照）



※エアホースを外すことにより、エアが抜けやすくなります。

5. しばらくすると、3.で開いた取水口（蛇口等）からエアを含んだ水道水が出てきます。
※エアを含んだ水道水の特徴は、ゴッゴッゴッと音が出て、水道水もその音に合わせて水量が変化します。
6. エア抜きが終わると、エアを含まない安定した水道水になります。
7. エアを含まない安定した水道水になってから、しばらく流水します。（約 10 分程度）
8. 3.で開いた取水側の取水口（蛇口等）を閉じます。
9. 加圧ユニットにエアホースを取り付けます。
10. 再度、取水口（蛇口等）を開いて安定した流水が出ることを確認してください。
※エア抜きが終了しましたら、通常通りに水道水が使用できます。
※水道水の流量によって、エア抜き時間に多少の変動があります。

エア抜きが適切に行われなかった場合には水量が不安定になりますので以下の点を
確認してください。

- 加圧ユニットにエアホースが付いている……………エアホースが取り外してあるか確認してください。
- 取水水量が不十分……………取水側の取水口（蛇口等）が十分に開いているか確認してください。
- 上記確認後、水量が不安定な場合……………販売店または、弊社までご連絡ください。

お問合せ先

株式会社アクアリザーブ

〒111-0051 東京都台東区蔵前1-5-1
TEL 03-5822-5310 FAX 03-5822-3282